

Q 50 美術品などの日本の文化財は世界に誇れるものだと思います。もっと外国に紹介し、文化財について興味を持ってもらうべきだと思うのですが、何かそのための取組を行っているのでしょうか？

A 国民の貴重な財産である文化財を積極的に海外に紹介していくため、古美術品などの海外展を実施したり、文化財に関する情報をインターネットで公開するなどの取組を進めています。

海外展（海外古美術展）

日本の歴史・文化に対する理解を深め、文化の国際交流を推進することを目的に、昭和26年のサンフランシスコ平和条約締結記念展（日本古美術展）以来、平成10年の「江戸：日本の美術1615 - 1868」展まで47回の海外展を実施しています。

この海外展は、国宝・重要文化財を含む大規模な展覧会であり、各国からの開催要望も年々増えています。海外展は国家間の相互理解と信頼を築く上で極めて重要な文化交流ですので、これからも引き続き充実に努めていきます。

なお、最近の開催状況は右の表のとおりです。

文化財情報・美術情報システム

平成7年から、文化庁や国立の博物館・美術館・文化財研究所が所蔵する収蔵品や文化財・美術品に関する情報をデータベース化し、インターネットで公開する「文化財情報・美術情報システム」を開設しました（<http://www.bunka.go.jp/>）。

平成9年度には、各公私立博物館・美術館が、インターネットで公開している文化財や美術品の情報を「作品名」、「時代」、「収蔵者」などで検索でき、国民が自宅等の端末から文化財の画像や参考情報を入手できる「共通索引システム」を開設しています。現在は、英語でも利用することができます（<http://www.tnm.go.jp/bnca/>）。

【最近の海外古美術展の開催状況】

展覧会の名称	会場・会期	主催者	内容
日本仏教彫刻展 - ジャパン・ソサエティー創立90周年 -	アメリカ ジャパン・ソサエティー・ギャラリー 9.5.15~9.7.6	文化庁 ジャパン・ソサエティー	飛鳥時代から南北朝時代までの約八百年間に渡る各時代の代表的な作品で構成され、日本での仏教信仰の展開や日本彫刻史の流れを紹介する。
くぐら 百済観音 - 日本の古代彫刻展 (日仏国宝級美術品交換展示)	フランス ルーブル美術館 9.9.10~9.10.13	文化庁 国際交流基金 仏国文化省 ルーブル美術館 在仏日本大使館	飛鳥時代を代表する木彫像で、我が国で作られたものながら、百済国からもたらされたという伝承から百済観音の通称で国民に親しまれている国宝の木造観音菩薩立像一躯を展示。
日本の原始美術 - 縄文土器展	マレーシア マレーシア国立博物館 9.10.9~9.11.30	文化庁 国際交流基金 マレーシア国立博物館	日本文化の基盤とも言うべき縄文時代の各種の遺物から特に造形的に比類のない縄文土器を中心に展示。
皇室各宝展 - フリーア美術館創立75周年 -	アメリカ アーサー・M・サックラー美術館 9.12.14~10.3.8	宮内庁, 文化庁, 国際交流基金 スミソニアン国立研究機関フリーア美術館 / アーサー・M・サックラー美術館	宮内庁で所蔵する国宝・重要文化財クラスの作品を含む多数の美術品及び御物の中から、平安時代から近代までの絵画及び書籍を厳選し、我が国の優れた美品を展示。
現代日本の伝統陶芸展	トルコ 絵画と彫刻美術館 10.5.2~10.5.20 トルコ・イスラム美術館 10.6.1~10.6.30	文化庁 国際交流基金 トルコ共和国文化省 在トルコ共和国日本大使館	明治時代以降の日本を代表する作家の作品を展覧し、日本の陶芸器の伝統を受け継ぎ発展させた現代の技と美を紹介。
縄文展	フランス パリ日本文化会館 10.9.29~10.11.28	文化庁 国際交流基金 パリ日本文化会館 パリ日本文化会館支援協会	日本文化の基層とも言うべき縄文時代文化遺物の中から魅力的な造形を示す土器・土製品を選び、さらに工芸技術史上重要と考えられる装身具を加え、展示。
江戸 日本の美術展1615 - 1868	アメリカ ナショナル・ギャラリー 10.11.15~11.2.15	文化庁 国際交流基金 ナショナル・ギャラリー	江戸時代を代表する各分野の代表的名品や江戸時代の人々の生活を謳歌するエネルギーと文化的洗練さを表現する作品を展示。